

関東福祉専門学校 令和3年度 第2回 教育課程編成委員会

日時：2022年3月12日（土）

14時～16時

会場：関東福祉専門学校 201 教室

1.開会 挨拶 関東福祉専門学校校長

2.委員紹介

佐々木 綾子（団体役員・有識者/千葉大学大学院国際学術研究院 准教授）

加藤 英樹（企業等役員職/撫でし子株式会社 理事長）

篠田 浩一（企業等役員職/社会福祉法人緑風会 花ノ木の郷 施設長）

※篠田様については本日欠席

関東福祉専門学校教員

小山まり（学校長）

生方薫（教務主任）

長谷川達也 長谷川方代

3. 今年度の教育目標・授業内容について

資料参照

- ・カリキュラム改正に伴い、人間関係とコミュニケーションの時間数が増
- ・科目間連携 来年度は実習施設とオンラインで授業に参加してもらうなど連携をしていく予定
- ・制度系科目の学習時期の設定変更
制度系科目が1年生に偏っている。2年生に分散させる案が出ているが、今後学則変更も含め、検討していく予定。
- ・オーバーワークについては厳しいと浸透されている様子あり
- ・国家試験合格まであと少しという学生が増えている。しかし、結果としてはまだ合格率は低い。
- ・合格率の高い学校は… 入学条件にN2以上としていたり、3年コースであったり、留学生が少なかったりする。当校の場合はN3相当としているため、学力的に不利な状況。それをフォローするためにグループ内での日本語学校の教員を講師に迎え、JLPT対策の他に介護の言葉もやっている。今年度より日本語基礎学力をつけるために介護の用語テストを実施している。

4. 委員からの意見要望

- ・学校行事の動画を見て…専門学校としての教育 コミュニケーション、人を楽しませるというところに重きを置いていることがわかる
- ・日本語は生活言語の獲得は2～3年。学習言語は7～10年かかると言われている
- ・学習言語の獲得に関しては日本人も同じ。
- ・集中的に日本語を学べると定着するのではないか。そのためには日本語学校との連携や地域での大学などの連携をしていくのもいいと思う。(海外のツールに興味のある人とつながることも可能)
- ・OB・OG とのつながりも持てるといいかも…
→同窓会として少しずつ情報を整理しているところ
- ・学校のミッションとしては介護の人材を輩出すること。学習(国家試験合格)豊かな人材(仲間をつくる)の2つがあげられることになる。
- ・関東福祉のスタンスとしては、学習がまだ未熟な学生も受け入れて教育をしていくところだと思う。
- ・卒業後のフォローについては学校でも行ってほしい。
- ・資格だけ取りに来る学生も世間的には増えていると聞く。そのような学生をどのように対応していくか今後の課題。
- ・色々な価値観を持つことも大切と教えた

4.その他 次年度委員開催の日程について

第1回：2022年8月27日(土) 10時～12時

第2回：2023年3月11日(土) 10時～12時

5. 閉会